

COMVO

communication x voluntary

2022

7

第7号

vol. 268



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」
居場所型就労支援で
働く人に笑顔とやりがいを

就労継続支援B型 ハッピーアクア

5 ボラ基金交付団体へ突撃取材
男性の脱暴力をグループワークで支援
メンズサポートルーム大阪

7 8 地元のサッカースタジアムで
『フードドライブ』にチャレンジ
明治安田生命保険相互会社 大阪本部



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

居場所型就労支援で 働く人に笑顔とやりがいを



就労継続支援B型 ハッピーアクア

城東区・城東警察署のすぐ近くに、道に面して大きな水槽のある建物があります。水槽の中にはたくさんのお熱帯魚が泳いでいて、思わず足を止めて眺めたくなるほど。近くの保育園の子どもたちにとっても、毎日のように訪れる、人気の立ち寄りスポットとなっています。

実はそこは、就労継続支援B型事業所の『ハッピーアクア』。障がいのある人たちが、就労のための訓練を行う施設で、利用者の人たちが、魚たちの世話などをしながら、いきいきと過ごしています。

障がいのある人に
楽しく通える居場所を

『ハッピーアクア』は、2021年3月に、株式会社国際グループ（以下、本社）の福祉事業として設立されました。

「もともと当社は、カンボジアの小学校建設を支援していて、福祉の分野で貢献をしたいというビジョンがありました。また、私をはじめ、障がい者を家族に持つ社員もいて、自分たちの体験から、障がいのある人たちが偏見を持たれることなく、心豊かに過ごせる居場所をつくりたいと考えていました。」



『ハッピーアクア』スタッフの皆さん

そう話すのは、『ハッピーアクア』統括部長の谷本秀幸さん(以下、谷本さん)。
およそ2年前、社内で福祉事業に関心の高い社員を募り、社内に福祉事業部を設置。利用者が前向きにステップアップしていくことができる就労継続支援に魅力を感じ、事業所設立に向かつて動き出しました。

卸販売会社とのご縁から。
「社長さんに事業所設立の話をしたところ、とても賛同していただき、『**アクアリウムセラピーを福祉に生かせるかもしれない』と協力していただけることになりました。おかげさまで、他の事業所にはない大きな特色が生まれまして、実際に、熱帯魚の飼育と就労継続支援との相性の良さを実感しています」と、谷本さん。

施設内のスタッフは、福祉の専門家、谷本さんはじめ福祉事業部の社員、アルバイトの総勢10人で、施設の運営については全員で意見を出し合います。

「毎日行うミーティングでは、利用者さん一人ひとりとって、何をすることが良いことなのかをみんなで考えています。障がいというのは、その人にとってハンディにはなるだろうけれど、それを後ろめたく感じるのではなく、この場所で、自分らしさを大切にできるきっかけをつくってもらいたいと思っています。」

※水槽の中の魚を眺めたり、水の音を聞いたり、水にふれることで、心を癒す効果などが期待できるという考え方。

自分で選べる仕事で 利用者の自立をサポート

『ハッピーアクア』の1階には大型の飼育水槽がいくつも並び、グッピーやベタなどの小さな熱帯魚から体長60cm以上にも及ぶアロワナまで、数十種類の魚が水槽の中でゆったりと泳いでいます。

2階には、ウーパールーパーやメダカの飼育水槽をはじめ、水槽で泳ぐ魚を眺めながら、お菓子の箱作りなどの軽作業ができるスペース、そして3階には、コケリウム(コケを使った観賞水槽)を製作するための静かなアトリエがあります。

現在、『ハッピーアクア』の利用者は約25人。施設の中で自分のやりたい仕事を選べ、今は希望する仕事ができなくて



可愛い熱帯魚に囲まれながら水槽掃除



大きな観賞用水槽のある軽作業スペース

も、できるようになるためのステップ作業も用意されています。魚の飼育では自分が世話をしたい魚も選べ、中には、自分が担当するウーパールーパーに名前をつけて育てている人もいます。

「利用者の皆さんには、社会に出るための第一歩としても、『ハッピーアクア』を外にある自分の居場所だと感じてほしい。担当している生き物がここにいれば、『自分がごはんをあげないと』『自分が水槽を掃除しないと』という気持ちが生まれ、それが毎日出かけることや仕事への意識にもつながってくると思うんです」と、谷本さん。

厚生労働省によると、令和2年度の就労継続支援B型事業所の全国平均工賃は時間給で222円です。

そんな中、『ハッピーアqua』では、利用者たちが飼育した熱帯魚を販売することなどで、時給500円以上の工賃を実現。ほかにも、通所するたびにスタンプの数が増え、貯まると特典のある「出席カード」や、1カ月間皆勤した人、新たに入所した人への賞状贈呈式を取り入れ、利用者のモチベーションや自信を高める工夫をしています。

『ハッピーアqua』は、利用者さんの居場所と自立をメインに考えている事業所です。いつか一般就労に移ってほしいという思いも込めて、工賃を時給800円までの昇級制にしています」と、谷本さん。

利用者が輝きながら働ける居場所づくりを力を注ぎ、頑張りを目に見える形で評価する。こういった取組みが功を奏し、事業所開設からわずか1年の間に5人の利用者が『ハッピーアqua』を卒業し、一般就労の道を歩み始めました。



3階にあるコケリウムのアトリエ



がんばった人には表彰状をプレゼント

福祉の分野で、今後も 新たなチャレンジを

こうして、これまでにないユニークな業態で、就労継続支援事業に取り組み『ハッピーアqua』。今後の目標は、「一般の人が持つ、障がい者や福祉のイメージを大きく変えていくことです。」

「私たちはこれまで福祉の仕事をしてきたわけではありませんが、異業種からの参入だからこそ、今のような業態が実現できたのだと思います。」

施設の前を通った時に大きな水槽を見て、地域のの人に「ここって何だろう？」と興味を持ってもらい、就労支援施設について理解するきっかけが生まれたらいいなと思っています。」

どこの町にも障がい者支援施設はありませんが、その存在や、どんな場所なのかを知っている人は多くはありません。谷本さんは、施設の存在をあえて地域に発信することで、障がいのある人も暮らしやすい町にしていきたいと考えています。『ハッピーアqua』の水槽をいつも楽しみに見に訪れることもたちも、も



道に面した大水槽は、地域のこどもたちに大人気

「笑顔でそう話してくれた谷本さん。障がいのある人たちの、どんな居場所が新たに生まれるのか、今後の取り組みがとても楽しみです。」

問合せ

就労継続支援B型 ハッピーアqua

TEL 06-6978-4021

Eメール info@happy-aqua.com

https://www.happy-aqua.com



『ハッピーアqua』統括部長の谷本秀幸さん

ボランティア活動総合補償制度のご案内

ボランティア・市民活動行事保険

補償概要	この保険は、日本国内において「社会福祉協議会」や「ボランティアグループやNPO法人などの市民活動団体」、「社会福祉協議会の会員団体」が主催者となる行事活動中の、ボランティアスタッフや参加者のケガおよび主催者が賠償責任を負った場合に補償するものです。						
加入資格	行事の主催団体で、大阪市の社会福祉協議会、大阪市の社会福祉協議会の会員団体および大阪市の社会福祉協議会で把握または登録されたボランティア・市民活動団体に限ります。						
対象行事	加入資格を満たしたボランティア・市民活動団体が主催する行事を対象とします。 ①社会福祉協議会やその会員、登録団体が共催・後援する行政が主催する行事を含みます。 ②団体の自助活動（懇親会等）も対象となります。 ※学校管理下の活動（クラブ活動、課外活動）や一般の営利団体が実施する行事は対象になりません。 ※加入者の本業は加入対象外です。						
保険期間	行事期間中（開催日の前日までに手続きが完了していること）						
保 険 料	行事参加者の傷害危険補償特約付普通傷害保険（宿泊を伴わない1日行事）						
（Ⅰ型）	最少加入人数・・・20名以上 名簿・・・備え付けが必要（申込時提出で往復途上も対象）						
	行事区分	A		B		C	
	保険料	1名につき30円		1名につき134円		1名につき262円	
（Ⅱ型）	国内旅行傷害保険（宿泊を伴う行事） 最少加入人数・・・1名以上 名簿・・・申込時提出						
	宿泊日数	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日
	保険料	229円	281円	289円	342円	350円	358円
（Ⅲ型）	施設入場者の傷害危険補償（宿泊を伴わないかつ参加者が事前に確定できない1日行事） 最少加入人数・・・20名以上 名簿・・・不要 ●Ⅰ型の行事区分表「A」でかつ、屋内（施設内）・屋外とも、開催場所の境界が明確に区分できる会場（公園、グラウンド等）で開催する行事および入口で入場者数が把握できる行事に限ります。						
	保険料	1名につき30円					

★詳細はパンフレットをご確認ください。

★その他、ボランティア活動保険、非営利・有償活動団体保険、移動中事故傷害保険があります。

●取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 株式会社 島本保険事務所
 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階
 TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686



ボランティア保険H.P



普段はできない経験を子どもたちに 『Pappa食堂』(西区)の取り組み

5月8日、『ながはりこども食堂』のこどもたちが、地域にある人気のイタリアンレストラン『Trattoria Pappa(トラットリア パッパ)』に招待されました。

「普段はできない経験をこどもたちにしてもらいたくて『Pappa食堂』を企画しました。食事の合間に厨房を見学したり、自由に過ごしてもらえれば」と、オーナーシェフの松本喜宏さん(以下、松本さん)。

「スープには人参、牛乳ともう一つ隠し味が入っているから当ててみて」パスタをゆでる時は、袋に書いてある時間よりも短くした方がよいよ」と、料理をしながらこどもたちに話しかけます。



こどもたちにパスタのゆで方を教える松本さん



お店の前で記念撮影

こどもたちも、普段は入れないお店の厨房で、ずらりと並んだ調理器具や、プロが手際よく料理を作る姿を見て大喜び。サラダの

ドレッシングはどうやって作るの? など、いろんな質問をしながら、料理を盛り付ける体験もさせてもらいました。

今後月に1回のペースで『Pappa食堂』を開催したいという松本さん。こどもたちと一緒に料理をする機会も作ってほしいと笑顔で話してくれました。

問合せ

地域こども支援ネットワーク事業 事務局

TEL 06-6675-4041 Eメール kodomo@osaka-sishakyo.jp
https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/



(左から)運営メンバーの杉崎さん、中川さん、水野さん

『メンズサポートルーム大阪』は、男性のメンバールームにより、DV(ドメスティックバイオレンス)などの脱暴力支援に取組んでいる団体です。

設立は今からおよそ30年前。女性やこどもを対象とした被害者支援が主だった時代に、アメリカでの加害者プログラムを参考に、『男の非暴力グループワーク』と名付けた活動をスタートしました。

月に2回開催されるグループワークに参加しているのは、配偶者やこども、恋人など近い関係の人に暴力をふるってしまい、加害者として悩んでいる男性たち。自分の気持ちを話し、同じ悩みを持つ人の話に耳を傾けることで、自

男性の脱暴力をグループワークで支援

メンズサポートルーム大阪

分自身を取り戻し、感情を言葉で相手に伝えることができるようトレーニングを行っています。

「自分を変えるというのは大変な作業ですが、一生懸命に自分と向き合っている参加者の皆さんに、私たちも勇気をもたらしています」と、代表の中川隆士さん。

「暴力によって家族が去ってしまい、自殺しそうな表情だった人が、生きる気力を取り戻してくれた時は、本当にほっとします」と、同メンバーの水野阿修羅さんも話します。

近年は、こどもへの虐待や、言葉の暴力などのモラルハラスメントで、児童相談所や配偶者に勧められて参加する人も増えており、『メンズサポートルーム大阪』の活動は、今後、社会の中でますます重要視されていくと見られます。

問合せ

メンズサポートルーム大阪

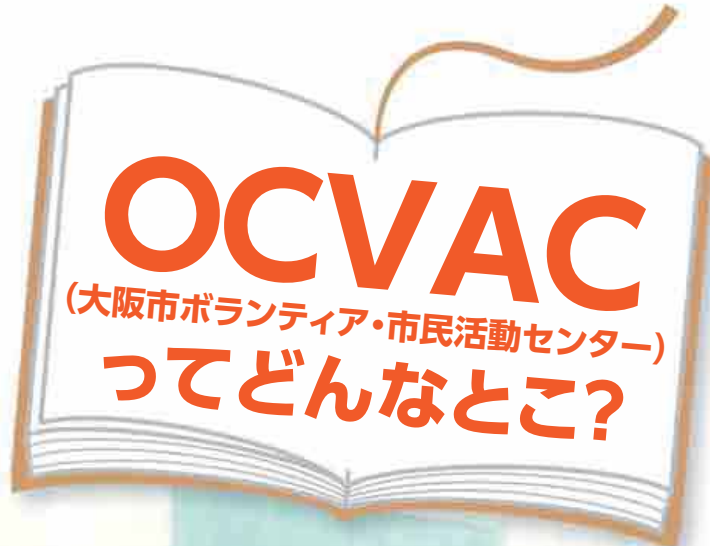
Eメール men_hibouryoku@yahoo.co.jp
http://msr-osaka.com/

令和3年度大阪市ボランティア活動振興基金
活動継続支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り組む活動の継続的な実施を目的とした事業の支援



OCVACスタッフが笑顔で対応します



OCVACフロアマップ

印刷機や拡大コピー機など、
市民活動に必要な機材を利用
できます(有料)

会議や定例会などで
利用できます
(定員10人/要予約)

作業スペース

ボランティア・市民活動に
関する相談ができます

相談窓口

会議スペース

イベント情報・ボランティア
募集情報、団体の紹介や
助成金情報などさまざまな
チラシを配架しています

広報物ラック

ボランティアのぼけっと

ミニチラシで、
ボランティア情報が探せます

入口



おくはっくん

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1階

TEL.06-6765-4041 / FAX.06-6765-5618

E-mail: ocvac@osaka-sishakyo.jp

《アクセス》 地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅

近鉄線「大阪上本町」駅 11番出口から東へ200m



会議スペースの活用の様子(楽笑おり紙会)

ご案内

大阪市ボランティア・市民活動センターの開所時間

《利用時間》月～金 / 午前9時～午後7時

土 / 午前9時～午後5時30分

休館日

日曜・祝日・国民の休日及び年末年始
(12月29日～1月3日)

地元のサッカースタジアムで『フードドライブ』にチャレンジ



明治安田生命保険相互会社 大阪本部

明治安田生命保険相互会社(以下、明治安田生命)は、地域に根ざしたスポーツであるJリーグを応援し、全58クラブとスポンサー契約を結んでいます。また、各本部・支社ごとに地元のクラブと協働し、地域活性化に向けて取り組んでいます。

大阪府下を中心に7つの支社で組織される大阪本部では、これまで、セレッソ大阪とともに、コロナ禍での健康づくりのためのウォーキングイベントなどを開催。そして今回、新たな取り組みとして『フードドライブ』を実施しました。



広場に設けられたフードドライブコーナー



**セレッソ大阪との協働で
取り組んだ初めての試み**

ゴールデンウィークさなかの5月6日、長居公園内のヨドコウ桜スタジアムでは、明治安田生命によるサポーターティングマッチとして、セレッソ大阪×ジュビロ磐田戦が行われました。

試合前、多くのファンが集うスタジアム前の広場には、グッズ売店に並んで明治安田生命の特設ブースが登場。骨健康測定などの人気コーナーとともに



多くのセレッソファンから食品の寄付が

に、フードドライブコーナーが設けられました。

コーナーには、準備中から早くも食品の寄付に訪れた人の姿があり、レトルトカレーやペットボトル飲料などをスタッフに手渡すと、にこやかに立ち去っていきます。受付が本格的に始まると、訪れる人は増えていき、中にはお菓子を手にした子どもの姿も。寄付のお返しにセレッソ大阪の選手ステッカー



寄付のお返しに、選手のステッカーをプレゼント

などを受け取り、満面の笑顔をみせてくれました。

「多くの人が集まるスタジアムでフードドライブができないだろうか」と、セレッソ大阪さんに相談したところ、「ぜひ、やりましょ」と快くお返事をいただきました。初めての取り組みでしたが、100人以上の人に来てもらえ、わざわざ持ってきてくださった食品を手渡ししていただいて、本当にうれしい気持ちになりましたと、明治安田生命大阪本部の山下さん。



寄付された食品を、必要とする人のもとへ



(左から)明治安田生命 大阪本部の松井さん、山下さん、大園さん



会社を通じてお客さまも フードドライブに協力

実は今回のフードドライブは、スタジアム以外の場所でも、明治安田生命大阪本部管下の職員たちによって展開されていました。

「弊社職員がお客さまにフードドライブについてお話ししたところ、寄付品を預けてくださいました。また、職員たちも積極的に寄付してくれ、これが

「受付で、寄付に来られた多くの人にお会いできて温かい気持ちになりました。小学生の男の子から「フードドライブって何ですか？」と聞かれて説明すると、「すごいーいいね、これ」と言ってもらえ、こどもにも良さが伝わる取組みなんだと改めて感じました」と、同本部の大園さんも目を輝かせながら話します。

「この輪がさらに広がっていきそうに楽しみです」と、山下さん。

こうして、フードドライブで集まった食品はおよそ70kg。大型段ボール箱6箱分となり、地域こども支援ネットワーク事業を通じて、こどもの居場所活動を行う団体に届けられました。

「セレッソ大阪さんも「今後もフードドライブの機会があるといいね」とおっしゃっていたので、ぜひ他のスポンサーとも一緒に取り組んでいただけたらと思います。私たちも1回限りで終わらせることなく、社内活動などとしても、試行錯誤しながら続けていきたいと思います」と、最後に山下さんは晴れやかな笑顔で伝えてくれました。

手から手へ。渡す人、受け取る人の気持ちをつないだ今回のフードドライブは、食品ロス

や食糧支援の

ための取組み

にはとどまら

ず、地元の人

や想いのある

人同士が関

わり合うこと

の大切さを再

認識させてく

れる素敵なア

クションとな

りました。

問合せ

明治安田生命保険相互会社
大阪本部 大阪業務グループ
TEL 06-6260-2535 FAX 06-6266-5830
www.meijiyasuda.co.jp

“もったいない”を減らして、“笑顔”を増やす 『フードドライブ』活動を広げよう

《フードドライブとは？》

家庭などで食べきれない未使用食品を個々に持ち寄り、それらをまとめて寄付する活動のことをいいます。寄付した食品を必要な人のもとに届けることで、食品ロスの削減となり、食糧支援にもつながります。

フードドライブで集まった食品は、フードバンクや社会福祉協議会などを通じて、地域の福祉施設やこども食堂、食糧を必要としている人などに寄贈されます。

どこでやっているの？

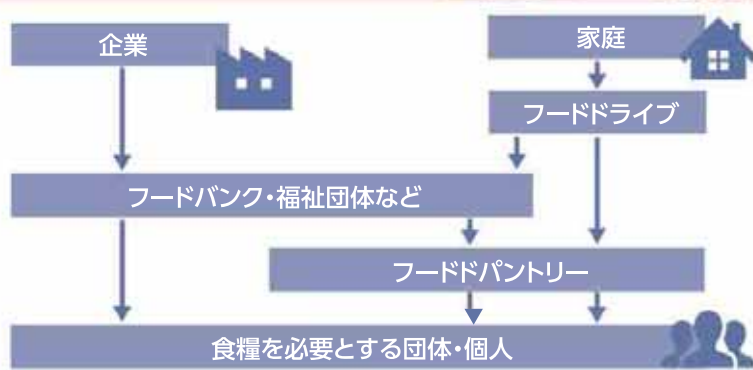
地域イベントなどの中で行われることが多く、自治体やスーパーマーケットで「フードドライブコーナー」を常設しているところも増えています。

【フードバンク】は、食品を取り扱う企業からの規格外品や過剰在庫、フードドライブを実施した団体から届けられた食品などが集まる場所のことをいいます。また、食品を保管・管理し、必要としている人や施設へつなぐ活動や団体を表す場合もあります。

どんなものが寄付できるの？

基本的には、常温保存が可能な未開封の食品で、お米、パスタ、インスタント・レトルト食品、缶詰、お菓子、飲料、調味料などが寄付できます。賞味期限までの期間など条件がある場合が多いので、事前に主催者側に確認するようにしましょう。

【フードパントリー】は、地域の福祉団体などが、フードバンクやフードドライブ、近隣のお店などから寄付された食品を、さまざまな理由で生活に困っている人たちに無償で配布する活動です。支援を必要とする人たちと直接つながる、セーフティネットとしての役割にも期待されています。



情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④楽しい宇宙と望遠鏡講座「星座を学ぼう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

夜空に肉眼で見える星座と星を学習して天体観察会で役に立つことを学習する。また宇宙の謎と不思議を探求する心を育む。

日 程 7/17 (日) 14:00~16:30

場 所 荻田土地改良記念会館 (住吉区荻田9-5-27)
地下鉄「あびこ」駅3番出口から徒歩5分

人数・条件 大人向け(小学5年生以上) 20名まで 参加費:無料

申込方法 ホームページ 締切:7/16

問合せ▶ TEL/090-8121-6929

Eメール k337yjunam@gmail.com (担当:樺山 淳司)

⑤著者と読む『愛と差別と友情とLGBTQ+ : 言葉で闘うアメリカの記録と内在する私たちの正体』

特定非営利活動法人

アジア太平洋資料センター (PARC) PARC自由学校

<http://www.parcfs.org/>

日本で急速に理解が進むLGBTQ+ (性的少数者) 問題から見えてくるこの世界の仕組みを紐解きます。著者と一緒「差別」について考えませんか?

日 程 7月~12月の木曜日 (全10回) 19:00~21:00

場 所 オンライン (zoom) にて開催

人数・条件 どなたでも (25名まで)
参加費: 25,000円
※初めて自由学校連続講座を受講される方は別途入学金10,000円が必要となります。

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・ホームページ 締切:7/7 (木)

問合せ▶ TEL/03-5209-3455 FAX/03-5209-3453

Eメール office@parc-jp.org (担当:二村、畠山)

⑥「同行援護従業者養成研修」参加者募集

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサーヂ師会

<https://osmk.osaka.jp>

視覚障がい者の自立と社会参加を支援する同行援護従業者(ガイドヘルパー)の資格を取得する講座です。【大阪府指定番号54】

日 程 一般課程:9/17 (土)~9/19 (月・祝) 9:00~18:00
応用課程:9/23 (金・祝)、9/24 (土) 9:00~18:00

場 所 大阪府鍼灸マッサーヂ会館 (阿倍野区昭和町2-10-5)
地下鉄「昭和町」駅3番出口から徒歩5分

人数・条件 満65歳未満の人 (2022年4月1日現在) 定員25名 (先着順)
一般課程:20,000円 応用課程:18,000円 両課程:35,000円

申込方法 電話、FAX、郵便、来所 締切:8/19 (金)

問合せ▶ TEL/06-6624-3332 FAX/06-6624-3337

Eメール siga@otrk.osaka.jp (担当:志賀)

①パソコン教室 ボランティア参加者募集

NPO法人 MAMIE

<http://mamie.jp/>

障害者をサポートしながらパソコンを教えませんか?

日 程 毎週土・日・祝 13:00~17:30

場 所 新和ビル9階 (淀川区西中島3-20-8)
地下鉄「西中島南方」駅から徒歩1分
阪急電鉄「南方」駅から徒歩3分

人数・条件 知的障がいなどの障がい理解のある人 5名まで
交通費あり

申込方法 電話・FAX・Eメール 締切:8/31

問合せ▶ TEL/06-6885-4141 FAX/06-7739-5360

Eメール mamie@mamie.jp (担当:安藤)

②いろんな活動出来ます!

株式会社 笑福

<http://www.warafuku.co.jp/yuraku/index.html>

こども食堂での手伝いから認知症の方との会話など幅広い活動が出来ます。

日 程 いつでもOK! (8:30~21:00)

場 所 認知症対応型デイサービス 悠楽
(西成区聖天下2-6-1)
南海電鉄・地下鉄「天下茶屋」駅から徒歩10分
阪堺電鉄「天下茶屋北」駅から徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール・ホームページ・来所

問合せ▶ 〒557-0012 大阪市西成区聖天下2-6-1

TEL&FAX/06-7501-9174

Eメール kataoka@warafuku.co.jp (担当:片岡)

③「パークラン」お手伝いボランティア募集!

鶴見区ボランティア・市民活動センター

<http://www.tsurumi-kushakyo.or.jp>

「パークラン」とは、公園で行われる5kmの運動コミュニティイベント。バーコード読みやコース誘導、最後尾を歩くなどお手伝いいただけるボランティアを募集しています!

日 程 毎週土曜日 7:30~10:00位まで

場 所 花博記念公園鶴見緑地 中央噴水付近 (鶴見区緑地公園)
地下鉄「鶴見緑地」駅下車すぐ

人数・条件 どなたでも ※スマートホン、飲料水をご持参ください

申込方法 現地に直接お越しください

問合せ▶ TEL/06-6913-7070 (担当:奥村)

⑨公園・夢プラン大賞 2022

一般財団法人 公園財団

<https://yumeplan.prjf.or.jp>

全国の公園緑地を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集します。

応募要件 ・「実現した夢」部門：過去5年間に公園で実施されたイベントや活動
・「やりたい夢部門」：公園でやってみたいイベントや公園の利用法についての提案
※表彰内容など詳細はHPを参照

応募方法 HPの応募フォームからご応募ください。※詳細はHPをご確認ください。

応募締切 9/30(金)

問合せ▶ 一般財団法人 公園財団 「公園・夢プラン大賞」係
〒112-0014 東京都文京区関口1-47-12 江戸川橋ビル2階
TEL/03-6674-1188(担当:川田・森崎) FAX/03-6674-1190
Eメール yumeplan@prjf.or.jp

⑩第53回(2022年度)博報賞

公益財団法人 博報堂教育財団

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/prize/>

児童教育現場の活性化と支援を目的とし、「ことば」の力の育成を核として、日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しています。※詳細はHPを参照

応募要件 ・日本国内での活動であり、日本在住の子どもを対象とした活動。
・主に6～15歳が中心の活動。特別支援教育については、4～18歳が活動の中心であること。
・活動開始から3年以上経過していること。
ただし、コロナ禍における新たな取り組みに限り、3年未満の活動も審査対象とする。
※応募には、推薦資格を有する第三者による推薦が必須です。

応募方法 郵送・Web ※詳細はHPの「応募ページ」をご確認ください。

応募締切 6/30(木)※財団必着(不備等の修正を含む)

問合せ▶ 公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階
TEL/03-6206-6266(平日9:30～17:30) Eメール hakuhoshou@hakuhodo.co.jp

⑪Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs

パナソニックホールディングス株式会社

https://holdings.panasonic.jp/pnsf/npo_summary/2022_recruit.html

SDGsの大きな目標である「貧困の解消」に向けて取り組むNPO/NGOが社会変革に貢献できるよう、「海外助成」「国内助成」2つのプログラムで、その組織基盤強化の取組みに助成します。

助成対象団体

- 民間非営利組織であること ●団体設立から3年以上であること
- 日本国内に事務所があること ●有給常勤スタッフが1名以上であること

助成対象事業・金額

- 組織診断からはじめるコース：1団体への上限100万円(1年目)
- 組織基盤強化コース：1団体への上限200万円(毎年)

応募方法 上記のURLより応募要項・応募用紙・手引をダウンロードし、応募要項に記載の必要書類一式と合わせて送付 ※詳細は応募要項と手引でご確認ください。

応募期間 7/15(金)～7/31(日)必着

問合せ・送付先▼

[海外助成]

認定特定非営利法人 国際協力 NGOセンター(JANIC)
(担当:塚原・伊藤・山田)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 アパコビル5階
TEL/03-5292-2911 FAX/03-5292-2912
Eメール pnsf-sdgs@janic.org

[国内助成]

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド(担当:霜田・坂本)
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋M1ビル1階
TEL/03-5623-5055 FAX/03-5623-5057
Eメール support-f@civillfund.org

⑦大阪市ファミリー・サポート・センター事業 提供会員養成講座

クレオ大阪子育て館

<https://www.creo-osaka.or.jp/north/>

子どもの心の発達や、事故防止、子どもの世話など、大阪市ファミリー・サポート・センター提供会員として必要な知識を学びます。

日程 7/4・7/11・8/1・8/8・8/22の各月曜日
10:30～16:30(日によって時間が異なります)

場所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄、阪急千里線「天神橋筋六丁目」駅 3番出口から連絡
JR大阪環状線「天満」駅から北へ徒歩10分

人数・条件 大阪市内在住で19歳以上の方・提供会員として登録する意思のある方
30名まで(多数抽選) 参加費：無料

申込方法 電話、FAX、ホームページ、来所 締切：6/24(金)

問合せ▶ TEL/06-6354-0106 FAX/ 06-6354-0277
Eメール info@osaka-kosodate.net (担当:岸 晃子)

⑧第14期ボランティア相談員養成講座・事前説明会

NPO法人 こころの救急箱

<http://www.cocorono99baco.or.jp>

自殺予防相談電話の相談員養成講座を開催するにあたり、より多くの人に活動内容を知って参加していただくために事前説明会を行います。

日程 8/20(土)・8/21(日) 14:00～16:00
※どちらでもご都合の良い日にご参加下さい。

場所 アネックスパル法円坂(中央区法円坂1-1-35)
地下鉄「谷町四丁目」駅10番出口から徒歩5分
JR「森之宮」駅北口から徒歩10分

人数・条件 満20歳以上70歳未満※心身共に健康で秘密厳守の原則を守れる人
参加費：無料

申込方法 FAX、Eメール 締切：8/14(日) 必着

問合せ▶ TEL/ 06-6942-9092 FAX/ 06-6942-9092
Eメール cocorono9090baco@kpa.biglobe.ne.jp (担当:藤原)

大阪市社会福祉協議会ホームページに関する アンケート調査にご協力をお願いします

情報発信を強化し、市民の皆様へ情報をより分かりやすく伝えるために、ホームページの内容改善に向けてアンケート調査を実施します。

いただいた回答をもとに、ホームページの内容を検討してまいります。「こんな情報があったらいいな」「もっと見やすくしてほしい」など、ご意見お待ちしております。ご協力よろしくお願いいたします。



- アンケートの回答は大阪市社協HPから↓
<https://www.osaka-sishakyo.jp>
- 回答期日：令和4年7月15日(金)

QRコードからでも
回答いただけます!



⑭2022年度 社会福祉事業 自動車購入費助成

公益財団法人 SOMPO福祉財団

<https://www.sompo-wf.org/>

障害の有無にかかわらず、すべての人が地域の中でともに支えあいながら暮らすことのできる社会づくりの一助となるべく、自動車を購入する費用を助成します。

助成対象 西日本地区に所在し、主として障害者の福祉活動を行う特定非営利団体
※インターネット申請が可能であること
※加齢に伴う障害者(高齢者)の福祉活動団体は除く ※詳細はHPを参照

助成金額 自動車購入費 1件150万円まで(総額1,500万円)

応募方法 HPの申し込みフォームに必要事項を入力のうえ送信し、申請を補完する資料などを郵送してください。※詳細はHPを参照

応募締切 7/8(金)17時(送信締切)

問合せ・送付先▶ 公益財団法人 SOMPO福祉財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL/03-3349-9570 FAX/03-5322-5257

⑫令和4年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞 レポート募集

公益財団法人 あしたの日本を創る協会

<http://www.ashita.or.jp/prize/index.htm>

住みよい地域社会の創造をめざし、独自の発想で活動に取り組んでいる地域活動団体の皆様、活動の経験や知恵などのストーリーをレポートとしてぜひお寄せください。

応募要件 ・地域住民が自主的に結成し運営している地域活動団体、または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等
※活動範囲は、市町村地域程度まで
・活動に2年以上取り組み、大きな成果を挙げている団体
※コロナ禍以前の活動も応募可能 ※表彰内容など詳細はHPを参照

応募方法 HPから応募用紙をダウンロードし、応募レポートと写真を添えて、Eメール(郵送、宅配便でも可)でご応募ください。※詳細はHPをご確認ください。

応募締切 7/4(月)

問合せ▶ 公益財団法人 あしたの日本を創る協会
〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-7 大成堂ビル4階
TEL/03-6240-0778(担当:活動賞担当) FAX/03-6240-0779 Eメール prize@ashita.or.jp

⑮2022年度 特定活動助成(傾聴ボランティア)

公益財団法人 ユニバーサル財団

<https://www.univers.or.jp>

人々の心のケアがますます求められる中、全国で心のケアのための傾聴ボランティア活動をしている団体に助成いたします。

助成対象 心のケアのための傾聴ボランティア活動(自然災害の被災者をはじめコロナ禍で困難な状況にある人等を傾聴)を行っており、次の二つの条件を満たす団体
・応募に際して、地元社会福祉協議会の推薦を得ること
・団体として既に一年以上の活動実績があること

助成金額 50万円(上限) 最長3年間

応募方法 HPから応募要項・申請用紙をダウンロードし、申請書に必要事項を記入のうえ送付
※詳細はHPをご確認ください

応募締切 7/29(金)※午後5時必着

問合せ・送付先▶ 公益財団法人 ユニバーサル財団 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階
TEL/03-3350-9002 FAX/03-3350-9008 Eメール info@univers.or.jp

⑬2022年度(第48回)丸紅基金

社会福祉法人 丸紅基金

<https://www.marubeni.or.jp/>

国民福祉の向上に資することを目的とし、社会福祉事業に対する助成を行うため、丸紅株式会社の拠出金により、1974年9月厚生大臣の認可を受けて設立されました。全国の福祉施設や団体が必要とする設備、機器、車輛、家屋のほか、各種団体が行う調査・研究活動などの資金助成として、約1億円を助成します。

応募要件 ・申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること。
※法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする
・1件当たり上限200万円
・明確な目的を持ち、実施主体、内容、期間が明らかであること
・助成決定から1年以内に実施が完了する予定であること
※2022年12月から2023年11月末の1年間に、申込案件が実施・完了される事業が対象
・一般的な経費不足の補填でないこと
・申込案件に、国や地方公共団体の公的補助がないこと、また他の民間機関からの助成と重複しないこと

応募方法 当基金所定の申込用紙に必要事項を記入の上、添付書類と共に事務局あてに郵送(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(木)

問合せ▶ 社会福祉法人 丸紅基金 〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2 丸紅ビル
TEL/03-3282-7591/7592 FAX/03-3282-9541 Eメール mkikin@marubeni.com

大切なお知らせ!!



※情報マーケットの掲載のイベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急きょ事前の連絡なく中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

参加前には必ず団体に
問合せください



ボランティア活動を 長く続ける



5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3 約束やルールは必ず守ろう!

Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

1人1人が自信をもって自己実現できる場所! それが『ろーたす』!

特定非営利活動法人 不登校・病児自立支援事業 ろーたす

ろーたすは、住吉区を拠点に運営しているフリースクールで、日本財団「第三の居場所事業」の受託もしています。

「1人1人の自己実現」を理念に据えており、50人のこどもたちが、今日も笑い合いながら元気に過ごしています。

こどもたちは「心のエネルギー」が貯まると、不思議と、一歩踏み出せるようになります。

学校に足を踏み入れようと頑張る子。自分の夢に向かって頑張る子。苦手なことに立ち向かう子。それぞれが自分の壁に向き合い、日々戦っています。

ろーたすには最先端の技術も無く、難しいことは何もしていません。ただ、とにかく「それぞれが心のエネルギーを貯めることのできる環境を」と、行動しています。

また、地域の皆様をはじめ、本当に沢山の方々から様々なご支援を頂いているお陰で、こどもたちの笑顔が今日も守られています。

昨今の、未曾有のコロナ禍は、こどもたちに大きな大きな影響を与えています。先行きが暗く、混迷している社会だからこそ、ろーたすは明るく元気に、こどもたちの持っている可能性を存分に発揮できる場所になれるよう、今日も頑張ります!

SNSやホームページも適宜更新中ですので、是非ご覧ください!

<https://lotus20190401.work/>



卒業式と学年末行事を兼ねた「お疲れ様会」の様子



おくばっくん

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。

(例: 2022年8月15日発行号(2022年9月号)に掲載希望の場合は2022年6月末日まで)



おことわり

※受付・掲載の有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。
P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたたんで
持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm



フリースクールの運営について、メンバーたちとミーティング

地域の人たちで支えるフリースクール

私は、普段はオンラインで不登校のこどもたちのために学習支援をする団体に所属しています。

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.22

その活動の1つとして、今回は東淀川区の豊新地域活動協議会の皆さまと、「地域の使われていない遊休会館の活用」と「学生と地域でこどもたちのための支援」をするため、フリースクールを作ることにしました。

「から作っていく中で、フリースクールを作った経験がないため、経験者の人と呼んだり、僕自身がこどもたちとの関わりについて研修するため他のボランティア活動に参加したりと、自分たちでできるところをひとつずつ行っていました。

まだまだできたばかりなので利用の申込みは来ないと考えていましたが、嬉しいことに「フリース

クールを利用してみたい」と連絡がありました。日頃少しずつ発信をしていたからこそその成果だと考えると、申込みがあった時はとても嬉しかったです。

また今回のボランティアでは、すべてをゼロから作っていったので「自分たちで考える経験」にもなり、とても有意義な時間になりました。

この経験を活かして、もっともっと多くのこどもに、このフリースクールを使ってもらえるよう努力していきます!

入谷 翔(22歳)

大阪経済大学
経営学部



プロフィール

所属団体: 不登校支援団体「CLASS B」
趣味: 映画鑑賞、コーヒーを飲みながらチョコを食べること
学年: 4年

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

エントリーはこちら ▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXがハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO268号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2022(令和4)年7月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

みなさま、はじめまして！

令和4年4月1日付けで大阪市ボランティア・市民活動センターに配属となりました「泉」です！社会人5年目に突入した途端、初めて【異動】というものを経験しました。

大きな大きな不安の中、最初の2か月を無事？に乗り切る事ができました。

しかし、今もまだまだ必死に、諸先輩方に食らいつきながら、業務に取り組んでおります。

情報誌の作成に携わるのは初めてですが、地域で行われている活動や、みなさまの関心が高い事柄について、約20年続けているサッカー経験を活かし、フットワーク軽く、ドシドシ情報をキャッチしていこうと思います！

世間知らずで、至らない点も多々あるかと思いますが、温かく見守っていただけると嬉しいです。

今後ともよろしくお願いいたします！

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集！

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載！市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

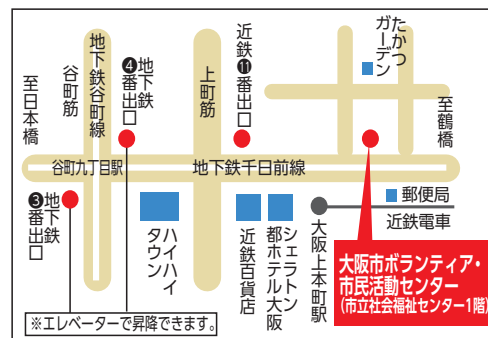
●開館時間：午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日：日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日：2022年6月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数：40,000部 ●制作協力：商工印刷株式会社 ●点訳協力：NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシア パラヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668